

2024 年度事業計画

1. 図書館事業

1. 収集

- ① 寄贈・寄託資料の受入
- ② 資料の購入（雑誌欠号補充ほか）
- ③ 寄贈・寄託事務規定等整備

2. 整理

- ① 寄贈・寄託および購入資料の整理

図書 〈整理・登録予定〉

大手出版社新刊ほか出版社・個人寄贈書

曾根博義文庫（継続 2023 年 11 月末現在 4,993 冊登録済）

青木鐵夫収集藤枝静男コレクション（継続）

〈整備・登録準備 継続〉

坂上弘文庫

竹盛天雄文庫

高橋英夫旧蔵書

ほか 計約 4,000 冊

雑誌

出版社寄贈新刊、同人誌、会報、紀要

購入雑誌（主に欠号補充）

高見順文庫、社会文庫、

美土路昌一コレクション（追加・未整理分）

ほか 計約 10,000 点

特別資料 〈登録予定〉

伊藤整文庫（継続）

坂本忠雄旧蔵資料（継続）

橋中雄二旧蔵資料、奥田茉莉旧蔵資料、

椿実資料、外村繁資料、

高橋英夫資料、今東光文庫

ほか 計約 3,000 点

〈整備・登録準備 継続〉

志賀直哉コレクション

- ② 図書・特別資料の遡及入力

図書 一般書架配架の作品、全集正本

特別資料 文庫・コレクションを中心に（継続）

- ③ 特別資料のデジタル画像化

3. 閲覧・公開

- ① 駒場本館 休館日＝日曜、祝日以外の月曜、月曜祝日の翌火曜（または月曜を含む連休の翌日）、第4木曜、年末年始、特別整理期間
成田分館 開館日＝毎月第1、第3土曜日（12月の第3土曜日、年始を除く）
- ② 資料複写、資料写真サービス
視聴覚資料を閲覧室の専用コーナーで順次公開する

4. 出品等協力

<企画展示の貸出し>

徳島県立文学書道館「太宰治展—創作の舞台裏」（2024年夏）

5. 特別整理期間

6月11日（火）～15日（土）／2025年2月11日（火）～15日（土）
（書架調整、曝書、庫内清掃、衣類など布製資料の虫干しほか）

6. 図書資料委員会

5月、9月、12月の年3回開催予定

7. 志賀直哉コレクション研究委員会

2. 展覧会事業

1. 春季特別展「『芥川龍之介文庫目録 増補改訂版』刊行記念 芥川龍之介」展

会期：2024年4月6日（土）～6月8日（土）

編集委員：庄司達也

部門構成：1 原稿と初版本でたどるその軌跡

2 旧蔵書に見る知の宇宙

3 書画と来簡に見る交友

4 生涯

図録作成（B5判、80p、1000部、税込1,320円）

イベント開催予定 2024年4月13日（土）「旧蔵書に見る知の宇宙」

登壇：小澤純、澤西祐典、庄司達也（司会）

川端康成記念室「川端文学の名作Ⅰ」と同時開催

2. 夏季企画展 「教科書のなかの文学／教室のそとの文学Ⅱ 中島敦「山月記」とその時代」

会期：6月22日(土)～9月7日(土)

編集委員：山下真史・安藤宏

*7月(日未定)、関連講座「教室」と「文学」をつなぐ—日本近代文学館を橋渡しとして」

3. 秋季特別展 「編集者旧蔵コレクション」展(仮題)

会期：9月14日(土)～11月23日(土)

編集委員：武藤康史

図録作成予定

川端康成記念室＝「川端文学の名作Ⅱ」を同時開催

4. 協力企画展 「三島由紀夫生誕100年記念展」(仮称)

会期：11月30日(土)～2025年2月8日(土)

編集委員：三島生誕100年祭実行委員会(仮称)

5. 「破壊と創造—震災の記憶」展(仮題)

会期：2025年2月22日(土)～3月29日(土)

編集委員：小池昌代

イベント開催予定

3. 講座・講演会事業

1. 文学館へ行こう！

主に大学生・大学院生を対象とする文学館利用案内講座。春秋各2回、定員各回10名程度。

2. 資料は語る「文学と美術の交響」

前期：3回＝4月・5月第3土曜日、6月第2土曜日／

後期：3回＝9～11月、各第3土曜日、定員各回30名

【前期】

4月20日 出口智之……口絵・挿絵から名作を読む

5月18日 伊藤一郎……画文共同——江戸から近代へ

6月8日 真田幸治……小村雪岱と大正期(九九九会)

【後期】

- 9月21日 松本和也……高見順と朝井閑右衛門——『いやな感じ』を中心に
10月19日 田中淑恵……福永武彦『玩草亭百花譜』と花のスケッチ
11月16日 前田恭二……余技の愉しみ 1935年の「余技展」を中心に

3. 声のライブラリー（石橋財団助成事業）

文学者の自作朗読と座談会。コロナ以前までおこなっていた集会型の開催（2020年2月までで第100回開催）とする。2023年度におこなった無観客朗読・対談4組の収録分については、対談部分の英語字幕版を制作・配信する。

9月、10月、11月の最終土曜日、講師2名の朗読・対談、定員各回40名

4. 「教室」と「文学」をつなぐ—日本近代文学館を橋渡しとして

7月～8月（日未定）開催

夏季企画展にあわせ、中学高校教員を対象に、教育現場での文学館活用法（ミニレクチャー）や意見交換会をおこなう。ZOOM併用。

5. 第59回 夏の文学教室

「異文化を問いなおす—ことばの冒険、ちがいの発見」

読売新聞社後援、小学館協力、有楽町・よみうりホール、各日講演50分×3コマ 6日間
7月29日（月）～8月3日（土）各午後2時～4時50分

6. 文学館演習—日本近代文学資料の探索と処理

8月20日（火）～24日（土）、館ホール、午前10時～午後5時10分（1日4コマ、計20コマ30時間、2単位）。定員30名

講師：安藤宏、石田仁志、大原祐治、紅野謙介、五味淵典嗣、出口智之、中島国彦、宮内淳子、山田俊治、和田博文、渡部麻実、事務局職員

7. 文学館職員研修講座

2025年1月下旬の3日間（日未定）

4. 刊行事業

1. 「文学者の手紙」

館編、博文館新社発行、「日本近代文学館資料叢書」第Ⅱ期

第8回配本別巻『写真アルバム』（編集翻刻・池内輝雄、紅野敏郎、曾根博義、十川信介）の準備（本文校了済、博文館新社で製作進行中）

2. 紀要「日本近代文学館年誌—資料探索」第20号

2025年3月刊行予定

編集委員：和田博文、伊藤一郎、小林幸夫

3. 『日本近代文学大事典』増補改訂デジタル版

引き続き元版の改訂、増補・書直し・新規立項あわせて約100項目の編集、作家の肖像・書影等写真の補充作業を行う（第4期：2025年3月公開予定）

編集委員：中島国彦（委員長）

安藤宏、紅野謙介、宗像和重（統括委員）

石川巧、石田仁志、大原祐治、小平麻衣子、河野龍也、小谷瑛輔、五味渕典嗣、

篠崎美生子、庄司達也、出口智之、鳥羽耕史、中谷いずみ、日比嘉高（編集委員）

運営：株式会社ネットアドバンス、配信サイト：Japanknowledge

5. SARTRAS 共通目的事業

1. 日本近代文学大事典の継続的構築

元版修正、新規・増補原稿編集、写真補充等データ整備の継続）として、2023年11月14日付で助成申請提出、2024年2月22日付助成決定通知

申請総額 21,550,000円（事業費総額25,870,000円）

うち、2024年度分として10,750,000円（事業費総額12,910,000円）

2025年度分として10,800,000円（事業費総額12,960,000円）

2. 教科書定番4作品の番組化

2024年度に「こころ」「舞姫」番組制作・編集（2023年度に「羅生門」「山月記」を制作済）

2023年2月に変更申請済の申請額 9,150,000円（事業費総額9,300,000円）

6. 運営審議会

・6月22日（土）、2024年度運営審議会開催予定

7. 全国文学館協議会

・6月12日（水）、幹事会、2024年度総会開催予定

・秋頃、第9回総務情報部会をくまもと文学・歴史館にて開催予定

8. 広報

- ・館報「日本近代文学館」を続刊
- ・ホームページの活用、改良

9. 設備改修工事

- ・電気設備 UGS（地中線用負荷開閉器）更新工事（関東電気保安協会、106万+税）
- ・地下空調機ドレン排水管改修工事（東京冷機、5.5万+税）
- ・汚水・雑排水ポンプ交換、ブレーカー交換（東京冷機、84万+税）

10. 建物管理保全

- ・長期的な修繕の展望を立てて、問題点を明らかにする。
- ・建物正面階段の全面補修計画

その他